

- ●会長 鳥海衡一 ●副会長 清水孝一 ●幹事 白石慎太郎 ●会報委員長 日坂泰之 (2014~2015年度)E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- ●例会日 毎週木曜日 12:15~13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- ●四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2991回例会 2015年4月2日 グランドホテル神奈中 週報第2991号

本日の卓話者ご紹介



卓 話

スポーツ実況 40 年~現場で学んだこと

フリーアナウンサー 深山 計

このたびは例会にお招きいただきありがとうございます。 さて、1976年広島の中国放送に入社以来あっという 間にアナウンサー生活 40年目に入りました。今回は、 私がこれまで様々なスポーツ現場で経験したことをお伝 えしようと思います。

●準備の大切さ

90年ヤクルトスワローズの監督に就任した野村克也 氏は、ID(インポート・データ)野球を徹底的に選手 に植えつけました。即ち、データによってあらかじめ相 手を知り、己を知る準備をしてから試合に臨む。長時間 のミーティングはまさに学校における授業のようなもの で、当初は戸惑いがあった選手たちも、試合で結果が出 るにつれて監督の意図をしっかり理解し、9年間で4度 のリーグ優勝3度日本一に輝きました。

「頭は生きているうちに使え」が野村氏の口癖でした。 実は私も長年のアナウンサー生活で「準備の大切さ」を 痛感しています。たとえば、同じ90年の秋にパリで行われた「国際親善駅伝」ラジオ中継は現地でテレビの映像を見ながら実況するスタイルですが、当日は悪天候のため移動カメラからの電波を受信するヘリコプターが飛べず、固定カメラだけの映像しかありませんでした。しかし中継をしなくては番組に穴をあけることになります。当日の天候が悪くなることは、現地入りしてから天気予報を見て予測がつきましたので、5区間42.195kmを何度もチェックし100m毎に目標物、選手の特徴、予想ラップタイムなど前日までに膨大なメモを作りました。結果的にはテレビ中継はほとんどできなかった中、私共ラジオ中継班は、ほぼ正確な中継を日本のリスナーに届けることができました。

●聞くことの大切さ

アナウンサーにとってインタヴューは基本中の基本です。特にスポーツ実況では、視聴者にわかりやすい話を解説者から引き出すことが最も重要だといっても過言ではありません。よく「話し上手は聞き上手」といわれますが、このことを学ばせてもらったのは、なでしこジャパンの佐々木則夫監督です。ご自身は「問答」と表現していますが、選手の気持ちをいかに引き出していったかは大変参考になりました。

湘南地区の皆様には、今年も湘南ケーブルテレビ様の 春の高校野球中継を通じてお目に掛かることになります ので、よろしくお願い申し上げます。

卓話者プロフィール

深山 計様

- 1954年2月18日生まれ 兵庫県出身
- ●関西学院大学卒業後、1976年中国放送入社。
- ●1989年、ニッポン放送に移籍し、ニッポン放送ショウアップナイターやマラソン中継を担当し、アトランタオリンピックでは、開会式や水泳、陸上、野球、女

本 日 4月 2日 会員数 61名 対象者 58名 出席者 43(40)名 出席率 70.49% 前々回 3月19日 会員数 61名 対象者 58名 出席者 41(39)名 出席率 68.33% MUP 3名 計 44名 修正率 73.33%

子マラソンなどの実況を担当した。

● 2002 年にニッポン放送を退社、スポーツマネージメント会社「ライツ」の取締役に就任。現在もスポーツアナとして活躍するかたわら、スポーツをテーマにしたシンポジウムやトークショーなどの司会・コーディネーターも務める。

<委員会報告>

●新世代委員会 馬上 晋委員長

4/25(土)に開催の緑化まつりで行います「巣箱づくり教室」へは沢山のエントリー(28名)有難うございます。巣箱の準備も進めております。よろしくお願い致します。

| <幹事報告>|

◎第 12 回 IA 委員会及び第 11 回 IA 合同会議開催のお 知らせ

日 時:4/11(土)

委員会 13:00~13:30 合同会議 14:00~17:00

場 所:アイクロス湘南 6 E 会議室

◎平塚西ロータリークラブから卓話(蓄音器鑑賞会)へのお誘い(4/1F事務局よりFAX済)

日 時:4/15(水) 12:30~13:30

場 所:カルチャー BONS 平塚

参加費:2,500円

申込締切: 4/13(月) *ご友人もご一緒にどうぞ!

<メークアップ>) 3名

馬上 晋・飯塚和夫・白石慎太郎会員

<本日のスマイル> 26名

(<ゲ ス ト>) 2名

卓話者 深山 計様 大塚政弘様(お父様への交誼のお礼に)

<卓話・行事予定>

4月 9日(木) 平塚警察署長 綿引直也様

16日(木) 企業訪問(石橋財団視察)

23日(木) 入会記念卓話 米山俊二会員

30日(木) 休会(定款による)

5月 7日(木) プログラム委員会(卓話予定)

<市内例会変更>

平塚西 4/29 (水) 休会・定款による

《公益財団法人ロータリー日本財団への 寄付について》

●寄付の種類

●年次基金

ロータリークラブは、世界中の地域社会で、平和の推進、水と衛生の改善、教育の支援、地元経済の促進、母子の健康改善、疾病の治療・予防といった活動にあたっています。このようなクラブの取り組みを支えているのが、年次基金へのご寄付です。

❷ポリオプラス基金

ポリオ (脊髄性小児麻痺) は、身体麻痺の後遺症をもたらし、時として命さえも奪う伝染病です。この基金は、ポリオを世界から撲滅するという目標を達成するために利用されます。

❸恒久基金

年次基金が今日の財団プログラムを支える一方、恒久基金は明日の財団プログラムを確かなものとするために、元金には手をつけず投資収益のみを使います。これにより、世代を超えて大勢の人々を支援し、希望を分かち合うことができるのです。寄付額に応じて、寄付者の名前をつけた冠名基金も設立できます。

●寄付の認証

ロータリー財団の協力財団である、ロータリー日本財団への寄付は、ロータリー財団の寄付認証を受けることができ、寄付累計にも加算されます。

ポール・ハリス・フェローなどの認証は個人を対象としますので、法人などは対象となりません。ロータリー財団の認証につきましては、寄付の認証に関する国際ロータリーのウェブサイトをご参照ください。

税制上の優遇措置

公益財団法人ロータリー日本財団への個人、法人からの ご寄付は、公益目的事業を支援するために支出された「特 定公益増進法人」への寄付金として取り扱われ、税制上 の優遇措置の対象となります。個人の寄附金に対する優 遇措置は、「所得控除」または「税額控除」のいずれか を選択することが出来ます。「税額控除」をお受けいた だくためには、確定申告の際「領収証」のほかに、「税 額控除に係る証明書」の提出が必要となります。